



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
 期末配当 3月31日
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
 公告方法 (お知らせ) 電子公告の方法により行います。
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
 公告掲載URL <http://www.nipponroad.co.jp/>

郵便物送付先・電話お問い合わせ先

| | 証券会社に口座をお持ちの場合 | 特別口座の場合 |
|-----------|----------------|---|
| 郵便物送付先 | お取引の証券会社になります。 | 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (変更ありません) |
| 電話お問い合わせ先 | | |
| お取扱店 | | みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店 |
| ご注意 | | 未払配当金の支払、支払明細発行については、右記の「特別口座の場合」の郵便物送付先・株券の電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。 |

【株式に関するお手続きのご案内】

株式に関するお手続き（住所変更及び単元未満株式買取請求等）につきましては、証券会社等をご利用の場合は、引き続きご利用の証券会社等へお問い合わせください。
 また、特別口座をご利用の場合及び未払配当金につきましては、上記の「電話お問い合わせ先 フリーダイヤル 0120-288-324」にお問い合わせください。

【配当金等のお受取り】

配当金等のお受取りには、安全・確実・便利な口座振込等をおすすめします。詳しくは、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

お知らせ

上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正（平成20年4月30日法律第23号）により、平成21年6月にお支払いする配当金について株主さまあてに「支払配当金額」や「源泉徴収税額」等を記載した「支払通知書」を通知することとなりました。配当金を配当金額収証にて受取られる株主さまは来年度の確定申告手続きに合わせて平成21年12月から平成22年1月に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。
 (なお、口座振込または株式比例配分方式を指定されている株主さまは配当金をお受取りの際に送付されている「配当金計算書」が「支払通知書」となりますので、引き続き確定申告手続きの際の添付資料としてご使用ください。)



東京都港区新橋一丁目6番5号

ホームページアドレス <http://www.nipponroad.co.jp/>



環境に優しい大豆油インキを使用しています。



静岡空港整備工事（滑走路・誘導路工）／静岡県

株主のみなさまへ

2008年度報告書

2008年4月1日から2009年3月31日まで

日本道路株式会社

株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに2008年度（2008年4月1日から2009年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたりまして、ひとことごあいさつ申し上げます。



代表取締役社長
三好 武夫

● 当期の概況

当連結会計年度の日本経済は、第2四半期以降、米国の住宅バブル崩壊を震源とした金融危機・株価下落や円高に伴い、日本経済や国内企業収益も外需・輸出面で大きな影響を受けて、消費者マインドが悪化し、企業収益は大幅に減少して設備投資も減少するなど、景気は急速な悪化をたどりました。

当社グループ（当社及び連結子会社、以下同じ。）の主要事業である建設業界の経営環境におきましては、景気悪化に伴い民間建設需要が減退し、建設投資は前年度比2.1%程度の減少が予測され、また、地方単独事業費の減少に伴う道路関連工事の減少、建設主要材料価格の乱高下などにより、厳しい価格競争が続きました。

このような状況下、当社グループは積極的な提案型営業を行い、時代に対応した技術開発とコスト競争力強化を推進するとともに、官庁工事への継続的取り組みと民間需要の開拓を図り、受注量確保と利益創出に取り組んでまいりましたが、工事受注高は1,094億1千2百万円（前連結会計年度比8.3%減）、工事売上高は1,111億8千7百万円（同1.6%減）となり、製品等を含めた総売上高につきましては1,410億7千8百万円（同1.0%減）となりました。

利益につきましては、企業間競争の激化など厳しい状況にあったものの、新しい入札契約方式への積極的対応、売上原価の低減や製造・販売事業における採算の改善に伴い、売上総利益は115億8千9百万円（同1.7%増）、営業利益は31億4千万円（同2.6%減）、経常利益は28億7千9百万円（同4.3%減）となり、当期純利益は16億1千万円と前連結会計年度に比べ53.4%増となりました。

● NVP2011

当社グループは、経営理念を『CSR経営を推進することによって、社会から信頼され、存続を望まれる企業になるとともに、持続可能な社会づくりに貢献する』と定め、経営の拠り所としております。

当社グループは2009年4月に中期経営計画NVP2011（2009.04.01～2012.03.31）をスタートさせました。経営基盤をさらに強固にした上で、持続的な利益ある成長と飛躍の実現を目指し、CSRを重視した経営を行うことによって競争力を高め企業価値を向上させるとともに、社員が前向きかつ果敢に目標にチャレンジし、夢を共有できる企業風土を醸成してまいります。

● 創業80周年を迎えて

当社は株主のみなさまを始めとするステークホルダーの方々に支えられ、2009年3月10日をもちまして創業80周年を迎えることができました。

今後とも、さらなる高効率経営とCSR経営の推進によって企業責任を全うし、かつ、お客さまに満足いただける施工・製品・サービスを提供することを基本として、業績の向上に取り組んでまいります。

なお、2008年度の配当金につきましては、本年5月15日開催の取締役会決議により、1株につき4円とし、本年6月8日を支払開始日とさせていただきます。

株主のみなさまには、なにとぞ引き続き一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年6月

当社グループの営業成績

(連 結)

| | 2007年度 | 2008年度 | 前年度比増減率 (%) |
|----------------|---------|---------|-------------|
| 受 注 高 (百万円) | 148,831 | 139,302 | △6.4 |
| 売 上 高 (百万円) | 142,549 | 141,078 | △1.0 |
| 営 業 利 益 (百万円) | 3,224 | 3,140 | △2.6 |
| 経 常 利 益 (百万円) | 3,010 | 2,879 | △4.3 |
| 当期純利益 (百万円) | 1,049 | 1,610 | 53.4 |
| 1株当たり当期純利益 (円) | 11.05 | 17.37 | |

(当 社)

| | 2007年度 | 2008年度 | 前年度比増減率 (%) |
|----------------|---------|---------|-------------|
| 受 注 高 (百万円) | 133,274 | 126,762 | △4.9 |
| 売 上 高 (百万円) | 126,434 | 127,321 | 0.7 |
| 営 業 利 益 (百万円) | 2,725 | 3,329 | 22.1 |
| 経 常 利 益 (百万円) | 2,714 | 3,283 | 21.0 |
| 当期純利益 (百万円) | 1,396 | 1,779 | 27.5 |
| 1株当たり当期純利益 (円) | 14.70 | 19.20 | |

セグメント別 受注高・売上高

(単位：百万円)

| セグメント別 | 連 結 | | 当 社 | |
|---------------|---------|---------|---------|---------|
| | 受注高 | 売上高 | 受注高 | 売上高 |
| 建 設 事 業 | 109,412 | 111,187 | 101,279 | 101,839 |
| 製 造 ・ 販 売 事 業 | 24,252 | 24,252 | 25,182 | 25,182 |
| 賃 貸 事 業 | 4,552 | 4,552 | - | - |
| そ の 他 の 事 業 | 1,084 | 1,084 | 299 | 299 |
| 計 | 139,302 | 141,078 | 126,762 | 127,321 |



北陸自動車道 柿崎～長岡JCT間舗装災害復旧工事/新潟県



平成20年度 長瀬スポーツ海浜スクエア整備事業 テニスコート改修工事/山口県

NVP2011のビジョン

基本コンセプト

1. 経営基盤の継続的強化
・量より質を追求する

2. CSR経営の推進
・CSRを企業価値にする

3. 活力ある組織・風土づくり
・目標にチャレンジする

当社グループの目指す姿

高い技術力と提案力によって、顧客から信頼され、社会とともに持続的成長を実現する企業を目指す

事業別基本戦略

- 1 工 事 事 業 戦 略～営業提案力と価格競争力の強化
- 2 製 品 事 業 戦 略～適正な販売価格の維持と事業規模の確保
- 3 海 外 事 業 戦 略～収益力とリスク管理の強化
- 4 建設関連会社戦略～利益確保と営業所の関与強化
- 5 直轄子会社戦略～収益力向上

数 値 目 標

(連 結)

(単位：億円)

| | 2009年度計画 | | 2010年度計画 | | 2011年度計画 | |
|-----------|----------|----|----------|----|----------|----|
| 売 上 高 | 1,450 | | 1,400 | | 1,400 | |
| 営 業 利 益 | 1.9% | 28 | 1.9% | 27 | 2.1% | 30 |
| 経 常 利 益 | 1.9% | 28 | 1.9% | 27 | 2.1% | 30 |
| 当 期 純 利 益 | 1.0% | 14 | 1.0% | 14 | 1.1% | 15 |

(当 社)

| | 2009年度計画 | | 2010年度計画 | | 2011年度計画 | |
|-----------|----------|------|----------|----|----------|----|
| 受 注 高 | 1,270 | | 1,250 | | 1,270 | |
| 売 上 高 | 1,340 | | 1,270 | | 1,260 | |
| 営 業 利 益 | 2.0% | 27 | 2.0% | 25 | 2.2% | 28 |
| 経 常 利 益 | 2.0% | 27 | 2.0% | 25 | 2.2% | 28 |
| 当 期 純 利 益 | 0.9% | 12.5 | 0.9% | 12 | 1.0% | 13 |

NICHIDOの技術

わが国の舗装に対する近年のニーズは、環境改善、ユニバーサルデザイン等、広範囲にわたっており、当社もこれらの技術分野に積極的に取り組んでおります。

その中から主な開発技術をご紹介します。

●廃材発生を抑制したコンクリート補修工法

完全付着型コンクリートオーバーレイ工法 (水を使った表面処理・NDウォータージェットシステム)

空港エプロンなどにおいて、地盤沈下や大型旅客機などの重さに対する構造上の問題で、コンクリート版を厚くして強度を増加させる必要があるときに実施される特殊技術です。

ウォータージェットとショットブラストの併用による表面処理で、新旧コンクリートが完全に一体化されます。

従来の打換工法に比べ、廃材発生量が大幅に低減(約1/20)され、また、ウォータージェットに使用した濁水の浄化処理、リサイクルも考慮された環境に優しい工法です。

成田国際空港では、すでに350,000㎡以上の改修に実施されており、新千歳空港や東京国際空港でも採用されました。



NDウォータージェットシステム

●沿線騒音と振動を抑制するLRT用軌道工法

樹脂固定軌道工法 (LRT用制振軌道)

LRT (ライトレールトランジット) は、欧米において1980年代以降、次世代型の路面電車システムとして導入が進められてきました。近年、環境にも優れた交通システムとして脚光を浴びています。

日本で最初の本格的なLRTである富山市や福井市に当社の樹脂固定軌道工法 (LRT用制振軌道) が採用されました。



樹脂固定軌道

●ヒートアイランド抑制に寄与する環境舗装

遮熱性舗装 (シャットファルト)、保水性舗装 (クールファルト)

近年、都市部ではヒートアイランド現象が大きな問題となっており、当社は、ヒートアイランドを抑制する工法として、遮熱性舗装及び保水性舗装を開発しました。

シャットファルトは、遮熱効果のある材料をアスファルト舗装表面に塗布した舗装です。遮熱材料が太陽光を反射することにより、舗装表面の温度を下げるすることができます。

クールファルトは、アスファルト混合物に保水性を有する特殊な添加剤を加えることで、舗装体内に保水された水分が蒸発するときに、「打ち水」と同じ原理で熱が奪われ、舗装表面の温度を下げるすることができます。

これらの舗装は、通常のアスファルト路面に比べて10~15℃程度の温度低減効果があります。



シャットファルト



クールファルト

●環境にやさしい固化材舗装

土系舗装 (マグフォームミック)、木質系舗装 (レインボーウッドMg)

肥料と同様な成分の固化材を使用した環境にやさしい舗装です。この固化材はもともと田圃のあぜ道に使われていたものを、当社が独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所等と共同で舗装用に改良したものです。

土やウッドチップとの付着性が良く、これらの材料の持つ柔らかさにより、公園園路や広場など子供やお年寄りが安心して歩行できる空間に採用が広がっています。



マグフォームミック



レインボーウッドMg

●路面の凍結を抑制する舗装

ウレタン樹脂充填舗装 (アメリウレタン)

排水性舗装の空隙部分に弾力性に富む特殊ウレタン樹脂を充填することで、凍結路面を通過する車両の荷重によってウレタンが変形し、雪氷の破壊、剥離を促進して路面を露出させる舗装です。冬期間のスリップ事故対策に有効に機能するため、特に、東北地方で採用が広がっています。



アメリウレタン

●様々な表情を路面に演出するユニバーサルデザイン材料

貼付式路面表示サイン (レインボーサインシート)



～駅の観光案内～



～施設のイメージアップ～

～世界遺産「石見銀山」の遊歩道にレインボーウッドMgが採用～

島根県大田市は、世界遺産に登録された石見銀山遺跡の中核をなす仙ノ山 (標高537メートル) に遊歩道を整備しました。

この遊歩道には、当社のレインボーウッドMgが採用されています。

2009.04.17山陰中央新報



製造・販売事業

当社は、道路舗装の主要資材であるアスファルト合材を全国のアスファルト合材工場より、工事現場に供給しております。また、アスファルト廃材、コンクリート廃材を受け入れる中間処理施設により、資源循環型社会の形成に貢献しております。

アスファルト合材工場より排出されるCO₂削減等、環境負荷軽減のために設備更新を図り、各種の環境基準をクリアしております。

今後も、アスファルト合材の品質確保と安定供給により、社会資本整備に寄与してまいります。



福岡合材センター（福岡県）

海外事業

当社は、海外事業への本格的な取り組みを開始してから、約30年間にわたり東南アジア地域を核とした海外事業展開を積極的に行っております。その間、マレーシア国、タイ国には現地法人を設立し、日系現地進出企業並びに現地顧客からの工事獲得に努めるとともに、国際入札案件にも積極的に対応してきました。

また、近年においては、蓄積された技術と経験を生かし、ラオス、パラオ等の海外拠点近隣諸国や南太平洋諸島においても実績を積んでおり、ベトナム、インド等についても取り組みの強化対象地域としております。

当社は、今後も当社グループの企業価値をより一層高められるよう、海外事業を推進しながら、社会基盤整備を通して現地社会に貢献してまいります。

PPP事業の展開

当社は、地元企業のみなさまと積極的に連携しながらPPP事業による地域社会への貢献を目指しております。

現在、豊田市の交通安全教育施設PFI事業が施設の建設中であり、2010年4月1日から運営を開始し、2025年3月まで、「くるまの町」豊田市のみなさまを対象に、仮想体験等の学習を通じて、身近に潜む交通事故の危険性や自己防衛の重要性などを学ぶ場を提供してまいります。

また、長野市のPFI事業「湯～ばれあ」では、運営中の温泉大浴場の他、水中運動プログラム専用プールと高齢者福祉センターを併設した健康増進施設として高齢者を中心とした健康増進へのニーズを捉え、好評を博しております。

今後もPPP事業推進室を中核として公園施設、交通関連施設、健康増進施設等のPPP事業に積極的に取り組んでまいります。



交通安全教育施設PFI事業一体験ステージ（愛知県）

温泉地区温泉利用施設一湯～ばれあ（長野県）



サラブリバイパス東側第二工区（インターチェンジ築造含む）工事（タイ国）

安全衛生・品質・環境マネジメントシステム

●安全衛生マネジメントシステム

安全衛生活動につきましては、さらなるステップアップを目指し労働安全衛生マネジメントシステム（COHSMS=コスモス）を2005年10月から導入し、安全衛生管理活動の組織的・標準的かつ効率的な実施、安全管理水準の維持、日常の安全衛生活動のさらなる向上を目指し運営しております。

●品質マネジメントシステム

お客さまに良質の製品を提供することを最大の使命と認識して全社品質方針を1996年8月に策定し、顧客のニーズを的確に把握、顧客視点の提案、良質な製品の提供、迅速な対応で顧客の信頼と満足を得るよう品質マネジメントシステム（ISO9001）を実行し、維持し、継続的な改善を目指しております。なお、本社の全部門を含めてシステムの全社統括化を2004年8月に完了しております。

●環境マネジメントシステム

環境保全活動につきましては、より確実に実施していくため2001年4月1日に、「環境方針」を策定し、環境マネジメントシステム（ISO14001）を導入し、環境への負荷の少ない事業活動を推進するとともに、システムの全社統括化を2007年8月に完了しております。

環境影響低減の活動の重点実施事項は、①建設副産物の適正処理及び資源の有効活用②CO₂排出量削減③環境保全の技術開発・拡販④環境関連法令の順守・教育と社会・環境貢献活動の実践を掲げ、人に優しい道路技術並びに環境に優しい工法の開発に積極的に取り組んでおります。

当社は、これら3つのマネジメントシステムを柱として、CSRの推進、顧客満足の向上、環境影響の低減、事故及び災害を撲滅するよう継続的に取り組んでおります。

安全衛生MS

安全衛生方針

安全第一主義を徹底し、事故・災害の撲滅を図り、もって安全で快適な職場環境の形成を促進するよう労働安全衛生マネジメントシステムを実行し、継続的改善を図る

行動指針

- 1.5Sを徹底した安全施工サイクルを確実に回し、死亡・重篤災害ゼロを目指す
- 2.安全衛生関連法令及び社内規程を順守する
- 3.協力業者との連携により、危険及び有害要因の特定と実施すべき事項を決定し、日常の安全衛生活動を実践する
- 4.快適職場を形成し、業務上の疾病を撲滅させる
- 5.安全安心社会の一翼になう行動を実施する

品質MS

品質方針

顧客ニーズを的確に把握し、顧客視点の提案、良質な製品の提供により、顧客の信頼と満足並びに会社の継続的な発展を目指すよう品質マネジメントシステムを実行し、継続的改善を図る

行動指針

- 1.顧客ニーズに迅速に対応し、提案営業による受注を拡大する
- 2.品質・コスト競争力強化により、連結利益を必達する
- 3.PDCAプロセスの徹底により、良質な製品を提供し顧客満足の向上を図る
- 4.技術の研鑽と業務の改善を進め、技術と品質の向上並びに業務の効率化を図る

環境MS

環境方針

自らの事業活動において汚染の予防、資源の有効活用を進め、環境に優しい社会の実現に寄与するよう環境マネジメントシステムを実行し、継続的改善を図る

行動指針

- 1.汚染予防・5Sの徹底に努め、建設副産物の適正処理、地球温暖化の防止を推進する
- 2.環境関連法令及び社会的な要求事項を順守する
- 3.環境保全に関する技術開発・拡販を推進する
- 4.環境教育・啓蒙活動を実施し、全従業員及び構成員へ環境方針を周知し、環境情報を社会に発信する

社会・環境貢献活動の紹介



2008年8月2日に開催された「夏休み親子監視パトロール体験」

当社鹿児島アスファルト合材センターは、鹿児島市環境局が主催する「夏休み親子監視パトロール体験」に協力し、市内の小中学生親子66人の見学者を受け入れました。

このイベントは、同市が廃棄物の適正処理に対する啓発を目的に、小学生親子が解体現場や産業廃棄物中間処理施設などを見学し、ごみ分別などを体験学習する内容となっています。

道路舗装業界での産業廃棄物、建設副産物のリサイクル事業の実態を学んだ後、合材製造設備やリサイクル設備、ストックヤードに保管されているアスファルト塊を児童たちが直接、手に触れ、間近で見て、リサイクル事業の一端に触れることにより、「ゴミが資源として生まれ変わる」「ゴミも資源である」など環境を考えるきっかけを提供しました。

今後も同様の見学会を積極的に受け入れ、循環型社会の形成に貢献してまいります。

決算概要（連結）

連結貸借対照表の要旨

（単位：百万円）

| 科 目 | 2007年度 | 2008年度 | 科 目 | 2007年度 | 2008年度 |
|----------|----------------|----------------|------------------|----------------|----------------|
| | (2008年3月31日現在) | (2009年3月31日現在) | | (2008年3月31日現在) | (2009年3月31日現在) |
| 流動資産 | 93,015 | 91,061 | 流動負債 | 66,545 | 60,146 |
| 現金預金 | 20,829 | 18,116 | 固定負債 | 15,939 | 14,129 |
| 売上債権 | 53,836 | 47,918 | 負債合計 | 82,484 | 74,276 |
| 棚卸資産 | 13,611 | 13,451 | 株主資本 | 49,961 | 50,302 |
| その他 | 4,736 | 11,575 | 資本金 | 12,290 | 12,290 |
| 固定資産 | 40,701 | 33,935 | 資本剰余金 | 14,520 | 14,536 |
| 有形固定資産 | 33,138 | 28,142 | 利益剰余金 | 23,713 | 25,039 |
| 無形固定資産 | 445 | 353 | 自己株式 | △563 | △1,562 |
| 投資その他の資産 | 7,117 | 5,438 | 評価・換算差額等 | 1,195 | 346 |
| 資産合計 | 133,716 | 124,996 | その他有価証券 評価差額金 | 1,114 | 415 |
| | | | 為替換算調整勘定 | 80 | △68 |
| | | | 少数株主持分 | 75 | 71 |
| | | | 純資産合計 | 51,231 | 50,720 |
| | | | 負債純資産合計 | 133,716 | 124,996 |

連結損益計算書の要旨

（単位：百万円）

| 科 目 | 2007年度 | 2008年度 |
|--------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | (2007年4月1日から 2008年3月31日まで) | (2008年4月1日から 2009年3月31日まで) |
| 売上高 | 142,549 | 141,078 |
| 売上原価 | 131,148 | 129,488 |
| 販売費及び一般管理費 | 8,176 | 8,449 |
| 営業利益 | 3,224 | 3,140 |
| 営業外収益 | 334 | 341 |
| 営業外費用 | 549 | 602 |
| 経常利益 | 3,010 | 2,879 |
| 特別利益 | 139 | 74 |
| 特別損失 | 694 | 705 |
| 税金等調整前当期純利益 | 2,454 | 2,247 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 736 | 337 |
| 法人税等調整額 | 662 | 300 |
| 少数株主利益 | 6 | △1 |
| 当期純利益 | 1,049 | 1,610 |

連結株主資本等変動計算書

2008年度（2008年4月1日から2009年3月31日まで）

（単位：百万円）

| | 株 主 資 本 | | | | 株主資本 合計 | 評価・換算差額等 | | | 少数株主 持分 | 純資産合計 |
|-------------------------------|---------|--------|--------|--------|------------|------------------|--------------|--------------------|------------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算 調整勘定 | 評価・換算 差額等 合計 | | |
| 2008年3月31日 残高 | 12,290 | 14,520 | 23,713 | △563 | 49,961 | 1,114 | 80 | 1,195 | 75 | 51,231 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △284 | | △284 | | | | | △284 |
| 当期純利益 | | | 1,610 | | 1,610 | | | | | 1,610 |
| 自己株式の取得 | | | | △1,090 | △1,090 | | | | | △1,090 |
| 自己株式の処分 | | 15 | | 90 | 106 | | | | | 106 |
| 株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額） | | | | | △699 | △149 | △848 | △3 | | △852 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | — | 15 | 1,325 | △999 | 341 | △699 | △149 | △848 | △3 | △511 |
| 2009年3月31日 残高 | 12,290 | 14,536 | 25,039 | △1,562 | 50,302 | 415 | △68 | 346 | 71 | 50,720 |

決算概要（当社）

貸借対照表の要旨

（単位：百万円）

| 科 目 | 2007年度 | 2008年度 | 科 目 | 2007年度 | 2008年度 |
|----------|----------------|----------------|------------------|----------------|----------------|
| | (2008年3月31日現在) | (2009年3月31日現在) | | (2008年3月31日現在) | (2009年3月31日現在) |
| 流動資産 | 85,605 | 81,973 | 流動負債 | 59,916 | 56,173 |
| 現金預金 | 18,286 | 15,819 | 固定負債 | 15,987 | 14,320 |
| 売上債権 | 48,483 | 44,555 | 負債合計 | 75,903 | 70,493 |
| 棚卸資産 | 11,629 | 11,543 | 株主資本 | 48,729 | 49,240 |
| その他 | 7,205 | 10,054 | 資本金 | 12,290 | 12,290 |
| 固定資産 | 40,142 | 38,175 | 資本剰余金 | 14,520 | 14,536 |
| 有形固定資産 | 25,681 | 25,072 | 利益剰余金 | 22,482 | 23,977 |
| 無形固定資産 | 362 | 317 | 自己株式 | △563 | △1,562 |
| 投資その他の資産 | 14,098 | 12,785 | 評価・換算差額等 | 1,114 | 415 |
| 資産合計 | 125,748 | 120,149 | その他有価証券 評価差額金 | 1,114 | 415 |
| | | | 純資産合計 | 49,844 | 49,656 |
| | | | 負債純資産合計 | 125,748 | 120,149 |

損益計算書の要旨

（単位：百万円）

| 科 目 | 2007年度 | 2008年度 |
|--------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | (2007年4月1日から 2008年3月31日まで) | (2008年4月1日から 2009年3月31日まで) |
| 売上高 | 126,434 | 127,321 |
| 完成工事高 | 101,797 | 101,839 |
| 製品等売上高 | 24,636 | 25,482 |
| 売上原価 | 116,977 | 117,310 |
| 完成工事原価 | 95,122 | 95,840 |
| 製品等売上原価 | 21,854 | 21,469 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,731 | 6,682 |
| 営業利益 | 2,725 | 3,329 |
| 営業外収益 | 490 | 490 |
| 営業外費用 | 502 | 535 |
| 経常利益 | 2,714 | 3,283 |
| 特別利益 | 635 | 58 |
| 特別損失 | 689 | 1,009 |
| 税引前当期純利益 | 2,660 | 2,332 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 620 | 254 |
| 法人税等調整額 | 643 | 298 |
| 当期純利益 | 1,396 | 1,779 |

株主資本等変動計算書

2008年度（2008年4月1日から2009年3月31日まで）

（単位：百万円）

| | 株 主 資 本 | | | | | | | | | | 評価・換算差額等 | | 純資産 合計 | |
|-----------------------------|---------|-----------|------------------|-----------------|-----------|-----------------|-----------|-------------|--------|------------|------------------|--------------------|-----------|-------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益 準備金 | 利益剰余金 | | | 自己株式 | 株主資本 合計 | その他有価証券 評価差額金 | 評価・換算 差額等 合計 | | |
| | | 資本 準備金 | その他 資本 剰余金 | 資本 剰余金 合計 | | 固定資産圧縮 記帳準備金 | 別途 積立金 | 繰越利益 剰余金 | | | | | | 利益剰余金 合計 |
| 2008年3月31日 残高 | 12,290 | 14,520 | — | 14,520 | 3,072 | 642 | 17,365 | 1,402 | 22,482 | △563 | 48,729 | 1,114 | 1,114 | 49,844 |
| 事業年度中の変動額 | | | | | | | | | | | | | | |
| 固定資産圧縮記帳準備金の取崩 | | | | | | △2 | | 2 | — | | — | | | — |
| 剰余金の配当 | | | | | | | | △284 | △284 | | △284 | | | △284 |
| 当期純利益 | | | | | | | | 1,779 | 1,779 | | 1,779 | | | 1,779 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | | | △1,090 | △1,090 | | | △1,090 |
| 自己株式の処分 | | | | 15 | 15 | | | | | 90 | 106 | | | 106 |
| 株主資本以外の項目の事業 年度中の変動額（純額） | | | | | | | | | | | | △699 | △699 | △699 |
| 事業年度中の変動額合計 | — | — | 15 | 15 | — | △2 | — | 1,497 | 1,494 | △999 | 510 | △699 | △699 | △188 |
| 2009年3月31日 残高 | 12,290 | 14,520 | 15 | 14,536 | 3,072 | 639 | 17,365 | 2,899 | 23,977 | △1,562 | 49,240 | 415 | 415 | 49,656 |

